

振り込め詐欺

振り込め詐欺（恐喝）事件が多発しています。電話などで「振り込んで」といわれたら、まず、家族、知人、警察などに相談を！

詐欺手口1 還付金等詐欺

「高齢者医療保証金の還付手続きをします。電話で案内しますのでATMの操作をしてください…」
ATMの操作を指示して、税金などを還付することは絶対にありません。税務署や社会保険事務所などの職員を名乗り、税金などの還付金や返戻金を還付する手続きを装って、ATMまで誘導します。誘導後、ATMの操作をさせ、現金を振り込ませようとします。
ATMの操作に不慣れであることに付け込んだもので、還付手続きと見せかけ、実際には振り込みをさせます。
そもそも、銀行などのATMの操作では、受け取りの口座を指定することはできません。

詐欺手口2 架空請求詐欺

「有料サイトの利用料金が未払いです」
利用した覚えのない請求には、振り込みも連絡も必要ありません。はがきやメールで「訴えられています」「放置すると差し押さえられます」「完納されています」など、「債務が発生しました」など、不安をあおる文書が送られます。
あなたの「そんなことあったかな」と思わせることが狙いです。
迷った末に電話する場合でも、書いてある連絡先ではなく、電話帳などで番号を確認してから電話してください。

今後特に注意!! (定額給付金や地デジ移行に伴う詐欺)

●定額給付金は、指定の「青い封筒」(25ページをご覧ください)で通知を行っています。はがきや市販の封筒で通知することはありません。また、電話で口座番号の確認をしたり、ATMの利用を指示することもありません。(口座番号は、持参または郵送いただいた通帳のコピーをもとに確認しています) 疑わしい場合は、一度電話を切り、再度手元の電話帳などで確認した電話番号におかけください。
●テレビの地デジ移行に伴い、テレビ受信対策員などを名乗り、受信工事などを請求する詐欺が、今後予想されます。ご注意ください。

詐欺手口3 融資保証金詐欺

「低金利で無担保、審査済みですからすぐ貸せます」
保証金などを要求されたらすぐに最寄りの警察署や市民相談センターに相談しましょう。
借入先を一本化しようと考えている人が被害に遭っています。無担保、低金利、即融資を掲げ、勧誘しますが、そんな条件のよい融資はありません。
融資の申し込みで、金融会社がお金を振り込ませることはありません。

詐欺手口4 オレオレ詐欺

「俺だけと会社の金を使い込んだ。今日中に振り込まないとクレームになってしまふ」
電話を切った後、すぐに振り込まず、家族、知人、警察に相談しましょう。
親族や警察官などを装って電話。交通事故の示談金、横領した会社の補てん金などの名目で現金を振り込ませよう。
電話での本人の確認は、思った以上に難しいものです。事実確認などを必ず知人や家族に行うようにしてください。
かけてきた相手が本人かどうかを確認するために、家族との連絡に使う番号にあらためてかけ直すことも有効です。

振り込め詐欺撲滅を目指して!!



青色防犯パトロール「くすのき会」を副市長が激励。

2月12日(木)、「振り込め詐欺撲滅広報キャラバン隊」が市役所を訪れ、振り込め詐欺撲滅に向けたメッセージを伝達しました。これは、近年被害が拡大している「振り込め詐欺」に遭わないよう、啓発のために県と県警が共同で実施したもので、同隊は、長崎県庁を出発。島原市などを経て、深江庁舎からは、引き継ぎを受けた深江町の青色防犯パトロール「くすのき会」の皆さんも参加し、市民に呼びかけを行いながら、ゴールである南島原市役所を目指しました。

市役所で行われたメッセージの伝達式では、県警生活安全課長が、「振り込め詐欺は、巧妙な手口であることから誰もがだまされる可能性があります。そのためにも市民皆さんによる一層の取り組みをお願いします」とメッセージを伝達すると、受け取った若本副市長は、「振り込め詐欺の増加を憂慮しています。市としても撲滅に向け取り組みます」と決意を新たにしました。

実録

あなたの身の回りにも振り込め詐欺

2月24日(火)、加津佐町の医院「未然に防ぐことができて本当によかった」と天木格さん
職員(A氏)が振り込め詐欺にあいそうになりましたが、相談を受けた同医院の事務長、大木格さんが説得。未然に阻止するという事件がありました。
相談を受けた大木さんによると、A氏宅にはがきで「民事訴訟裁判通告」が届き、「今日中に48万円振り込むよう」指示。A氏は、記載内容に覚えはないものの、親戚などに迷惑がかかることを恐れ、大木さんに資金繰りの相談をしたもの。
大木さんは、普通郵便(はがきでの通告であることなどから不審に思い、「振り込め詐欺」を確信。A氏の同意を得て警察に通報したところ、振り込め詐欺であることが発覚し、水際ではありましたが、振り込め詐欺を阻止することができました。



お手柄!!

「今日中に48万円振り込め！」

「記憶にないけど家族に迷惑がかかるし…」

解説

振り込む前にまず相談を!

南島原警察署 刑事生活安全課 森 広美 課長



●どうして振り込んでしまったのか? 皆さんの、今回の未遂事件をお聞きになって、「なぜ振り込むと思ったのかな?」と思われる方もいらっしゃると思いますが、詐欺集団は、私たちの心理を巧みに利用し、しかも日々新しい手口でついでにできます。

●良好な人間関係があなたを救う!

ともすれば、職場の人間関係は希薄になりがちですが、今回は「職場での相談」が、詐欺から救いました。本当にすばらしいことです。きっと職場の雰囲気もよかったですよね。振り込め詐欺が日々進化する以上、私たち自身も自衛が必要ですが、中でも「力を合わせて詐欺に対抗する」ことはとても重要なことなのです。



●振り込んで気持ちも楽になりません

最後に、振り込んだらどうなるかを考えてみましょう。振り込んで済むことなら、早く振り込んで楽になりたい、という気持ちは、よくわかります。ですが、いったん振り込んでそれが詐欺だった場合、それまでよりもずっと嫌な気持ち、ずっと長く続くのだということをお忘れではありません。